

夜尿症・尿失禁の診断、治療のために受診中あるいは受診経験のある 患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター泌尿器科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

難治性夜尿および遺尿症の病態と治療経過についての検討

【研究の背景と目的】

小児夜尿症の患者さんはその多くが年齢とともに自然軽快しますが、15歳以上でも依然1～2%の患者さんが存在し、そのまま成人されることもあります。さらにこれに切迫性尿失禁（急におしっこがしたくなり我慢ができなくなり漏らしてしまう）が重なることでこれらの患者さんは様々な場面で生活の質が下がってしまうことは否めません。しかし、一部の患者さんだけがなぜこのような症状が治らずに続いてしまうのかを調べた報告はあまりありません。

当院では多数の夜尿症の患者さんを診察しており、検査や治療を続けています。これらの貴重なデータを取りまとめ報告することは、治りにくい夜尿症や尿失禁の患者さんの治療に役立てると考えております。

【対象となる方】

泌尿器科にて夜尿症、尿失禁の診断、治療のため2010年1月から2024年3月までの間で受診した患者さんで、初診年齢が5歳以上で診療および検査を受け、治療の経過が1年間確認できた方。

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。

カルテ情報：生年月、性別、合併症、既往歴、腹部超音波検査結果、尿流測定及び残尿測定結果、夜尿回数、切迫性尿失禁回数、便秘の有無と回数

なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認日から2026年3月31日まで実施され、800名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。
また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本泌尿器科学会雑誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 泌尿器科 宋 成浩（学内教授）

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター 泌尿器科 担当者：池添 慧梨香（レジデント）

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50 電話番号：048-965-4944（泌尿器科外来直通）

問い合わせ窓口：泌尿器科 臨床研究コーディネーター 山本 佳子

月～金 午前9時～午後5時

以上